

水無みよ

第26号

東地区地域づくり協議会々報
発行 平成30年9月15日
発行責任者 佐藤成孝
茗荷沢268番地1 (東開発センター)
電話 025-779-3312

大倉 - 電気柵 10カ所 93a

サル 獣 に効果

なぜ鳥獣被害が起こるようになったのか？近年、全国的にサルなどの野生動物による農作物の食害が多発している。当東地区管内もサルやハクビシン被害がだんだんと多くなってきている。一昼夜にして丹精をこめて作った野菜や果物が壊滅的な被害を受ける。

背景には自然への関わり方がこの数十年で大きく変化してきたことが考えられる。例えば雑木林の利用の減少、人工林の管理不足、耕作放棄地の増加等がある。これらの条件が複雑に絡み合って、野生動物による被害が増加していると思われる。

17軒の会で作業

大倉集落は3年前「おおくらモンキーストップの会」を立ち上げた。会員数は現在17名(軒)、平成29年から、今年30年に向け、電気柵を設置した。会は毎年あるサル・ハクビシン被害をあきらめるのではなく、なんとかしようとして立ち上げた。

電気柵設置箇所は30年現在で10カ所(H29-6カ所・H30-4カ所)で畑の面積は約9,300㎡に及び電気柵の電線総延長は1,650m位になる。

設置費は補助金

8年の耕作要件

当初は集落内に点在する畑をそれぞれに柵で囲むことができるのか(まとまった畑地が少ない)不安であったが、市役所農林課の指導を受



け、国(農林水産省)の被害防止対策事業に関する補助金の交付を受けた。

交付にあたっては一定の条件をクリアする必要がある。集落内で3人(軒)以上がまとまること(面積が小さいと個人負担が発生することがある)や8年間は必ず、耕作管理をすること等があり、申請しても国は費用対効果の高い集落を優先して設置する。

条件を満たせば、個人負担は設置時ないが(備品は集落会員負担)その後の管理・メンテナンスは集落会員負担となる。また、申請時の内容を途中において、変更することは原則認められない。

柵は8段式でサルのほか、ハクビシン等の侵入防止も対応する。大倉地区では設置場所において現段階で大変高い効果をあげている。

設置・撤去に述べ4日

設置においては前段に業者の指導を受けるがその後の作業はほとんど会員が行う。2年目からはもちろん会員のみでの設置や撤去作業となる。大倉地区では初年度の設置、撤去等は延べ1週間程

度の手間通しであった。慣れてくれば2年目以降は4日間位の手間でできるとのことである。事務作業はどうしても申請業務があるため、初年度は多いが、2年目以降は事業報告業務等のみでパソコンが使える、一般的な事務作業ができる人なら誰でも行える。

月500円積立

会では将来的なことも踏まえて、現在は月に500円の積み立てを行っている。献身的なリーダーと会員(住民)の主体的な取り組み姿勢、行政担当者のサポートがうまく連携しないとできないことは言うまでもない。対策の心構えとして、①住民1人1人が当事者意識を持つ。②地域での連携や意識の共有。③複数の対策を同時に行う。これらのことが大切であるとリーダーは言っていた。

畑にきれいに張られた
電気柵(写真上)
会員が皆で張る(写真上)



今回、東地区の集落形状にあった大倉地区の取り組みを取材しました。

いろいろな取り組みを参考にしてあきらめることなく、鳥獣被害防止を考えてみてはどうでしょうか。大倉地区では最近、いろいろな集落の方が足を止め、見ていくそうです。(大倉 上村則夫記)

参考にしたい文書:

- ・市有害鳥獣被害防止事業
- ・県鳥獣被害対策取組方針
- ・国被害防止対策事業
- ・南魚沼地域鳥獣被害対策チーム会議

縁あって

池田記念美術館々長
高橋良一さん(61)
小千谷市・岩沢生まれ



1985年ベースボールマガジン・恒文社入社*2013年同社退職*14年春から妻と山崎に。
※
「退職後フリーで」と考えていたが館長を請われ就任しました。いくばくかの退職金で空いていた家を買いました、ネットで知ったのです。高校卒業まで岩沢にいたので雪も地域柄も山崎に違和感はありませんー今年山崎の班長をしますよー」
(写真) 井口優 (文) 関正太郎

地元の石川雲蝶 第5回里山文化祭



「第5回里山文化祭」実行委員会幹事会が9月7日開かれ、地元に残る「石川雲蝶」の作品展示を決めた。

文化祭は11月3日-4日の両日荒金の体育館で開かれる。赤石、三用両小学校全児童の絵画展示や書道パフォーマンスがある。幹事会は、雲蝶研究者・中島すい子氏と共に魚沼市にある永林寺を訪れ、雲蝶の作品を見た=写真=